

取扱説明書

対応製品: ホンダモンキー、ゴリラ各年式
燃料タンク各種(汎用内容)

商品ID

各種燃料タンク対象



□特徴

本製品はモンキー、ゴリラへの取り付けをベースに取り付け方法を解説しています。本説明書対象製品の燃料タンクはカラー・デザイン・一部特別仕様箇所も含まれます。一般的な燃料タンク交換方法をわかりやすく簡潔に説明しています。更に詳しい整備方法はホンダ整備マニュアルを参考にしてください。

□燃料タンクについて

モンキー、ゴリラ燃料タンクは年式によりデザインが様々です。本取扱説明書では販売数の多い5Lモンキーを用いて解説しています。実際、フレーム年式によって適合タンク仕様が決まるため、購入前の確認が必要です。またタンク、シートの組み合わせによっては、別途ステーが必要な場合や、取り付け加工が必要となるため、知識のある方のアドバイスなどを参考にしてください。

□適合車 モンキー・ゴリラ(モンキーインジェクション 2009年以降の車両は除く)

□各タンク適合コック条件

- ・4Lモンキー・A型・Z型
取付ネジサイズ M12/ピッチ1.0(mm)
- ・5Lモンキー・ゴリラ・エイブ(キャブレター車)
取付ネジサイズ M14/ピッチ1.0(mm)
- ・一部の海外製燃料タンク(弊社取扱い)・XRモタード
取付ネジサイズ M16/ピッチ1.5(mm)

* サイズ確認はコックネジ山直径φをノギスで計測します。

* コック取り付けはスパナは使わず、指で回します。強く締めすぎるとパッキンがちぎれ、燃料漏れの原因となります。

* コックはオン、オフ、リザーブ(製品表示は英語)を切り替えます。リザーブは燃料が少なくなった場合のみ使用します。

* 燃料ホースは一般的に5Lモンキーではφ4.5mmです。キャブレターによってはφ6、8mmの場合があります。

□取り付け手順書(作業で5Lモンキーの車体を使用しています)

タンク交換時の作業前に行うこと

燃料タンク内にあるガソリンは一斗缶などへ移し替えます。タンク内の燃料は完全に抜いてください。

	<p>1.リアショックの袋ナットを緩めます。ソケットレンチ14mmで袋ナットを2回転分回します(ナットは外しません)。上下共にソケットレンチ14mmを使用して袋ナットを緩めます(合計4か所)。</p>		<p>6.コックを新しいタンクへ取り付けします。コックは必ず指先で握り素手で回してください。スパナは使用しません。また長年使用したコックはパッキンの交換をお薦めします。コック取り付け後、画像のようにレバーはOFFに向けます。</p>
	<p>2.バッテリーカバーを外します。画像中の指で示したロングボルトφ8をソケットレンチ12mmで外し、引き抜きます。シートを後方へ引き抜き外してください。</p>		<p>7.タンク後方のグロメットマウントクッションへ以前使用していた燃料タンクから外した部品を取り付けます。ゴムの劣化が進んでいる場合は交換します。</p>
	<p>3.燃料タンクを外します。ソケットレンチ10mmでタンク後方のボルトを外します。</p>		<p>8.タンク前方ガイドをラバーマウントクッションへタンク本体をスライドさせて取り付けします。タンクは地面に対し30°ほどの角度から差し込みます。</p>
	<p>4.燃料コックジョイント部分ホースバンド、キャブレタージョイント部ホースバンドそれぞれをラジオペンチで摘んで外します。この作業時、燃料が少量ですが漏れるため必ずトレイや新聞紙を床へ敷いてください。</p>		<p>9.各部品を外した際の逆の手順で取り付けを行います。各部ボルト、ナット類の緩みがないことを十分に確認してください。また最初の燃料補給時にガソリン漏れがないことを確認してください。</p>
	<p>5.燃料タンクを後方、斜め上(地面に対し30°の角度)で引っ張りフレームから外します。</p>		

□燃料キャップについて

燃料キャップは各年式・車種により専用品となっています。ホンダ純正モンキー燃料キャップは適合年式以外であっても取り付けが可能な場合があります。またパッキン等の部品も別途販売されています。燃料を満タンにした場合、燃料キャップのパッキンやキャップに設けられた排圧穴から燃料が滲み出る場合があります。また天候等による原因もありますので、事前にテストをした上でご使用ください。



注意事項

* ガソリンは第4類危険物の第1石油類に分類される危険液体です。火の気のないスペースで作業を行ってください。

ミニモト商品についてのご質問、ご意見は「お客様相談窓口」0266-75-5770 まで